

2026年4月1日

認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

**【ワクチンで守りたい！感染症で亡くなる子ども達の命】
ポリオや破傷風などの基礎的なワクチンを途上国に送り、
小さな命を1人でも多く救います**

報道関係者各位

ポリオや破傷風などの感染症により、世界では未だ1日4,000人、年間で150万人もの子ども達が命を落としています。「認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」（以下 JCV）は、UNICEF や現地の医療関係者と協力し、途上国の子ども達にワクチンを届けることで子ども達の未来を守る活動「子どもワクチン支援」を行っています。

「ワクチンを贈ることで、1人でも多くの子ども達の命を感染症から守りたい！」

1994年の創設から30年以上にわたって活動を続け、これまでに1億3,966万724人の子ども達にワクチンを届けています。

当会は、4月1日に夢を発信する日にしようとする April Dream に賛同しています。このプレスリリースは、認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会の夢です。

(JCV の HP ページ：<https://www.jcv-jp.org/>)

(April Dream 公式サイト：<https://aprildream.jp/>)



【ワクチンを接種できず感染症で失われるちいさな命「1日4,000人」】

日本では、ポリオやはしか、破傷風などのワクチンを誰もが無料で接種でき、感染症を予防することで多くの赤ちゃんが健康に成長することができます。しかし、世界に目を向けると、途上国では、これらの病気が日常の脅威として未だに多くの命と笑顔を奪い続けています。ワクチンで予防できる感染症で亡くなる5歳未満の子どもの数は1日4,000人。年間で150万人ものちいさな命が失われています。

出典：World Health Organization (2019) Immunization Facts in Pictures



【途上国の子ども達の命と未来を救う JCV の「子どもワクチン支援」】

2025年は、総額1億1,774万5,176円分のワクチンや関連機器を、支援国のミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツ、4カ国の子ども達に贈りました。

支援国	金額	内容
ミャンマー	3,282万 1,865円	<ul style="list-style-type: none">●ワクチン ※経口ポリオ、不活化ポリオ、五価(ジフテリア/百日咳/破傷風/B型肝炎/ヒブ(Hib))、MR(はしか/風疹)など約9,000人分を予定 (※現地でワクチンを調達するため、詳細は後日決定)●コールドチェーンなど 注射器、使用済み注射器回収箱、コールドボックス、温度計、少数民族の保健機関育成・接種実施費用、技術アシスタンス費用、プログラム管理費用

ラオス	3,320 万 6,533 円	●ワクチン 経口ポリオ 35 万人分 BCG(結核) 31 万人 B 型肝炎 7 万人分
ブータン	2,197 万 378 円	●ワクチン 経口ポリオ 4 万人分、 BCG(結核) 4 万 2,000 人分、 MMR(はしか/おたふく風邪/風疹) 3,750 人分、 DPT(ジフテリア/百日咳/破傷風) 3 万 2,000 人分、 TD(破傷風/ジフテリア) 5 万 2,000 人分、 B 型肝炎 5,000 人分 ●コールドチェーンなど 注射器、使用済み注射器回収箱、コールドチェーンメンテナンス費用、ヘルスワーカー研修費用、保護者への啓発活動費用、プログラム管理費用等
バヌアツ	2,974 万 6,400 円	●ワクチン 不活化ポリオ 1 万 1,500 人分 五価(ジフテリア/百日咳/破傷風/B 型肝炎/ヒブ(Hib)) 2 万 7,000 人分 MMR(はしか/おたふく風邪/風疹) 2 万 2,500 人分 MR(はしか/風疹) 4 万 9,075 人分 ●コールドチェーンなど 注射器、ワクチン運搬費用、コールドチェーンメンテナンス費用、プログラム管理費用

【募金や不要品の回収など、協力方法は様々】

「子どもワクチン支援」には、様々な方法でご協力いただけます。商品が1つ売れるごとにワクチン1人分を寄付するといった企業・団体によるタイアップ協力、募金箱の設置といった現金による支援はもちろん、ハガキや切手、ペットボトルキャップ、古本、衣類など不要品の回収・買取でも、途上国の子ども達の命を守ることができます。

感染症を予防するためのワクチンは非常に安価。ポリオワクチンであれば、わずか約20円、比較的高価なMMR(はしか、おたふくかぜ、風疹)ワクチンでも約280円です。例えば、85円ハガキ1枚でポリオワクチン3人分の支援につながります。

私達は1人でも多くの子ども達の命を守るため、今後も活動を続けてまいります。皆さまも、自分に合った方法で、ぜひ子どもワクチン支援活動にご参加いただくと幸いです。

活動への参加方法（抜粋）

寄付	<p>毎月決まった額を寄付する毎月募金「子どもワクチンサポーター」と1回ごとに金額を決めて寄付をする都度募金がございます。</p> <p>電子マネーやポイント、ふるさと納税を通じて寄付いただくこともできます。</p>	<p>詳細はこちら</p>
募金箱	<p>オフィス、学校、病院、あなたのお店に設置できる募金箱を配布しています。集まった募金は、同封する払込取扱票を窓口で利用することで、手数料無料でお振込いただけます。</p> <p>また、ご寄付いただいた後は、ワクチン何人分の寄付につながったのかを示すカードを発行いたします。募金箱の前面にあるクリアポケットに設置することで、支援の結果を広くご報告いただけます。</p>	<p>詳細はこちら</p>
ハガキ、切手、テレホンカード等の回収	<p>ご家庭に眠っているハガキや切手、テレホンカード、外貨、商品券などを JCV にご郵送ください。ハガキは切手への交換、それ以外はコレクターへの買取等を通して、ワクチン支援につながります。</p> <p>書き損じハガキ、消印が残った使用済み切手も回収しています。</p>	<p>詳細はこちら</p>
ペットボトルキャップ回収	<p>ペットボトルキャップは、回収リサイクル事業者を通して、買取金額の一部が寄付になります。また、集められたペットボトルキャップはプラスチックのリサイクル素材となり、買い物カゴや洗剤・柔軟剤ボトル等にリサイクルされます。</p>	<p>詳細はこちら</p>
使わなくなったもので協力	<p>身の回りにある使わなくなったけれど、まだ使える「もったいない」ものを通じて、子どもワクチン支援にご協力いただけます。</p> <p>本、CD・DVD、ゲームといったリユースとして定番のものから、ぬいぐるみやおもちゃ、ピアノ等の楽器、パソコン、スマートフォンなど、30品目以上が支援につながります。</p> <p>「こんなものも活用できないだろうか」と感じる方は、HPのフォームやお電話でぜひお問い合わせください。</p> <p>お問い合わせフォームはこちら</p>	<p>詳細はこちら</p> <p>※ 掲載しているアイテムは、ほんの一部です。詳細は、記載している各サービスのHPをご確認ください。</p>

※「April Dream」は、4月1日に企業がやがて叶えたい夢を発信する、PR TIMES によるプロジェクトです。私たちはこの夢の実現を本気で目指しています。

【団体概要】

●団体名： 認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

●代表： 理事長 剣持 睦子（ケンモチ ムツコ）

●創設者： 細川 佳代子（ホソカワ カヨコ、細川護熙元首相夫人）

●本社所在地： 東京都港区三田 4-1-9 三田ヒルサイドビル 8F

●URL： www.jcv-jp.org

●設立： 1994 年 1 月 29 日

●スペシャルサポーター：

竹下景子（ワクチン大使・女優）、和田毅（元プロ野球選手）、早見優（歌手・女優）、三國清三（シェフ・株式会社ソシエテミックニ 代表取締役）、進藤奈邦子（WHO 健康危機管理プログラムシニアアドバイザー）、鏡リュウジ（翻訳家・心理占星術研究家）、安藤優子（ジャーナリスト）、キャップ革命 ボトルマン（株式会社タカラトミー）

<お問い合わせ先>

認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

広報・啓発・教育グループ 乙津

TEL： 080-3094-8232 FAX： 03-5419-1082

E-mail： otsu@jcv-jp.org